

サントスカーナ 石膏ボード直塗工法対応



■ 適応下地

■ 石膏ボード (耐水合板(厚さ9mm以上)混在下地含む)

- 木造下地・・・JASS15左官工事3.9のb工法
- コンクリート躯体・・・石膏ボード工業会「せっこうボード直張り工法」

に準拠して張られたものに、下記の処理を行います。

I. アクストップ・水引き調整処理(合板混在下地の場合のみ)
「アクストップ」を全面に塗布(目安:100g/m²)・乾燥させて下さい。

II. 目地処理

① 目地詰め材料混練

① サントスカーナ共材で目地処理する場合

後述の混練方法を参考にして、目地詰め材料を固練りして下さい。

乾燥を早め目地部のヤセを極力抑える為、出来るだけ水量を減らして練って下さい。(目安:1.8ℓ/袋)

② 「速乾目地パテ」で目地処理する場合

石膏ボード用目地処理材「速乾目地パテ」に0.25ℓ/袋の水を加えハンドミキサーで練りムラのないようによく混練します。

② 手順



▼ファイバーテープ貼付

▼目地詰め

▼かき取り

▼乾燥

目地部分に「ファイバーテープ」をたるまないように貼ります。

固練りした「サントスカーナ」又は「速乾目地パテ」を、テープより少し幅広に塗布して、目地部に材料を詰めていきます。

その後後にテープを剥がさない様に注意しながら余分な材料をかき取ります。

目地部のヤセを極力抑える為、十分に乾燥させて下さい。
・サントスカーナの場合は夏期2時間以上、冬期5時間以上
・速乾目地パテの場合は2時間以上

■ 石膏プaster ドライアウトしていないもの。

■ セメントモルタル 木ゴテをかけた後、表面を金ゴテで軽くはって不陸の無いよう平らに仕上げます。

十分に乾燥・養生(最低一週間)し、「タフレックス」3倍希釈液を全面に塗布(目安:150g/m²)・乾燥させて下さい。

■ 施工方法 ※施工の詳細については、施工要領書をご覧ください。

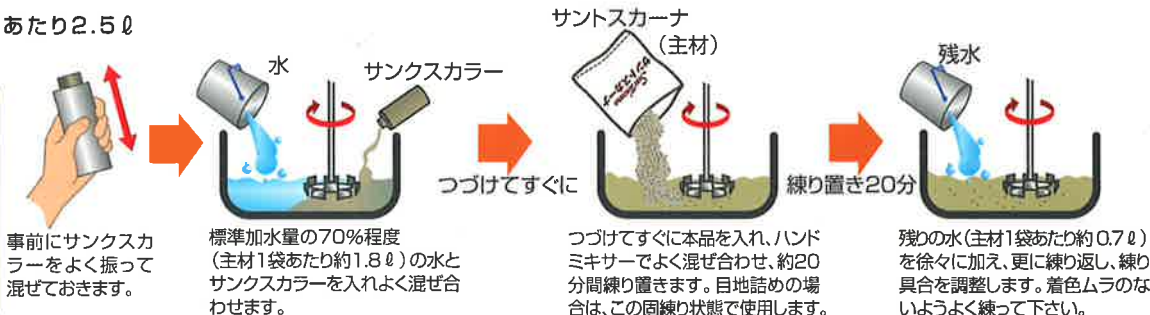
■ 混練

① 標準加水量 / 1袋あたり2.5ℓ

② 練り方

サントスカーナ 使用上のご注意

- 使用前にフタをしたまま、ピンをよく振り、中身が動く音がするのを確認してからご使用下さい。その後、練り水をピンに6〜7分目ほど入れてはフタをして振ってから洗い出す動作を数回繰り返して必ず全量を使い切ってください。
- 主材1袋につき1本使用して下さい。



事前にサントスカーナをよく振って混ぜておきます。

標準加水量の70%程度(主材1袋あたり約1.8ℓ)の水とサントスカーナを入れよく混ぜ合わせます。

サントスカーナ(主材)

つづけてすぐに

つづけてすぐに本品を入れ、ハンドミキサーでよく混ぜ合わせ、約20分間練り置きます。目地詰めの場合、はこの固練り状態で使用します。

残りの水(主材1袋あたり約0.7ℓ)を徐々に加え、更に練り返し、練り具合を調整します。着色ムラのないようよく練って下さい。

■ 塗装

① 全面にしごき塗りをを行います。

② おっかけまたは乾燥後、全面に本塗りをを行います。

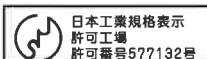
③ 表面水が引かないうちに仕上げ(コテ押さえ(フラット)・パターン付け)を行います。

■ 標準仕様と性能

標準仕様	
品名	サントスカーナ
用途	内装用仕上塗材
種類	内装薄塗材W
主成分	無機粉体・寒水石・珪藻土・化石サンゴ
カラー	100g/本(別売り)No.51(白色)のみ170g/本
接着剤	粉末樹脂配合
正味重量	5,000g
標準使用量	石膏ボードの直塗の場合:3.3m ² 新築用下地(ボードンプaster)の場合:5.5m ²
標準加水量	2.5ℓ/袋
可使時間	24時間
有効期間	2年間
塗り厚	1.5~2mm
包装	4袋/ケース

性能 / JIS A 6909 薄付け仕上塗材(内装薄塗材W)試験法に準ずる		
試験項目	成績	判定基準
保水性(%)	98.3%	60%以上
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	合格	ひび割れがないこと
付着強さ(N/m ²)	0.42	0.2N/mm ² 以上
耐摩耗性	合格	剥れ及び磨耗による基材の露出がないこと
耐変退色性	表面状態 グレースケール(号)	異常なし 4~5
耐アルカリ性B法	異常なし	ひび割れ、剥れ、膨れ及びひびわがなく、かつ変色及びつやの変化が無いこと
吸放湿性(g/m ²)	100	70g/m ² 以上

商品を正しく安全にご使用いただくために施工要領書をよくお読みください。



株式会社

サントス

TEL 大阪 072-991-3090 / 東京 03-3600-2135
http://www.sunxnet.co.jp/